

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	鳥栖市立鳥栖北小学校		C：やや不十分である D：不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・中間評価をもとに、取組をさらに推進させるで、目標を達成することができたり、目標に近づいたりすることができた。来年度も振り返りを生かして取り組んでいきたい。 ・無理なく進めることでコミュニティ・スクールとしての取組が軌道に乗っている。学校運営協議会とともにどのように発展させていくか熟議していきたい。 ・各項目での目標や取組の浸透がさらに図られる必要があると感じられた。学校評価の目標を意識させるための取組も考えていきたい。		
2 学校教育目標	豊かな心を持ち、個性に富み、たくましく生きる児童の育成		

3 本年度の重点目標	①子どもの心を鍛える。 ②子どもの学びを鍛える。 ③子どもの体を鍛える。 ④教師力を磨く。 ⑤共に育てる。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上		・		・		・		
	○読書活動の推進	○読書量平均一人70冊以上(低学年) 60冊以上(中学年) 50冊以上(高学年)								・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・図書委員会による図書館祭りや各学年のおすすめの本を提示するなど児童への啓発活動を進める。 ・読書週間にファミリー読書を推奨し、読書の習慣化を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒70%以上		・		・		・		
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上								・学級づくりや道徳科の授業づくりに関する情報共有等を行う。 ・友達のおよき見つけの実践を行う。 ・友達を大切にすることを実践(「くん」や「さん」をつけて友達を大切にすること)を行う。 ・いじめの定義について研修を行い、どのような行為がいじめに当たるのか理解を深める。 ・毎月10日の「鳥栖市いじめ・命を考える日」になかよしアンケートを行い、即日確認するとともに、チームで迅速に対応する。 ・毎週水曜日の「生徒指導打ち合わせ」において、生徒指導次項について情報交換と情報の共有を行い、指導や支援の方法について全職員で共通理解を図る。
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の実施	◎夢や目標の実現に向けて、努力する気持ちがあると答える児童80%以上								・児童が夢や目標をもつことができるような授業実践を行うとともに、実践についての情報を共有する。 ・キャリアパスポートを活用し、活動の見直しと振り返りを一体化して児童に意識させることで、児童が自己の成長に気付けるようにする。
●健康・体づくり	①望ましい生活習慣の形成 ②望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ③安全に関する資質・能力の育成	①早寝早起きをしている児童90%以上を維持する。 ②朝食の喫食率90%以上を維持する。 ③防犯ブザー所持率90%以上維持する。		・		・		・		
	○運動習慣の改善や定着化を目指した教育活動	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上								・生活リズムアップ週間を実施し、学校・家庭の両面から、早寝早起きと朝ごはんを食べて登校する習慣を意識させる。 ・防犯ブザー点検を各学級で行い、所持する必要性について声掛けを行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。		・		・		・		
	○ICT機器の活用	○ICT機器を授業や業務に活用できている職員の割合80%以上								・業務記録により勤務時間の意識化を図る。 ・定時退勤日を設定し確実に実行する。 ・業務の精選を行う。 ・各種業務の文書のデータベースをつくり、活用できるように整備する。 ・ICT機器(PC、タブレット)を授業や業務に効率的に活用する。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上		・		・		・		
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性や意識が向上した教員85%以上								・障害理解や通常学級での特別支援に関する研修会を行い、専門性の向上を図る。 ・保護者と合意形成のもと個別の教育支援計画を作成し、合理的配慮を実施する。 ・個のニーズに応じた交流及び共同教育の実践を行う。
○学習への意欲の充実	○学習活動における人権意識の向上	○授業において、児童による意思表示と、それに対する同意や称賛の割合50%以上								・学習活動において、指名やグループ発表などを通して、児童の意思を表明する機会を確保する。 ・児童同士が意思表明や同意、称賛などを行うことを通して、自己肯定感や自尊心を高める機会を設ける。

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------